

はりきゅう愛媛



愛媛県鍼灸師会通信(第22号)

発行月 2023年2月

発行元 (公社)愛媛県鍼灸師会

〒792-0888 新居浜市田の上二丁目16-52

TEL 0897-45-1280

CONTENTS

- 第13回はりきゅう市民公開セミナーのご案内…………… 1
 - 特集：倦怠感とはりきゅう…………… 2
 - 研修会・学術大会参加の報告…………… 3
 - information…………… 4
- 令和5年 新年のごあいさつ
はりきゅう豆知識②
編集後記

第13回 はりきゅう市民公開セミナーのご案内

令和5年3月5日(日)、第13回はりきゅう市民公開セミナーを開催いたします。今回もオンラインのみでの開催です。詳細については、(公社)愛媛県鍼灸師会のホームページ(<https://www.harikyu-ehime.or.jp>)に掲載いたしますので、ご確認ください。

講師は、防衛医大外科系漢方外来担当、品川荏原ライフケアクリニック院長の黒川胤臣先生。テーマは『癌患者と鍼灸について』。演題は「癌患者の緩和ケアとしての東洋医学的アプローチの役割」です。

黒川先生からメッセージを頂いておりますのでご紹介いたします。

近年、癌の研究や治療の進歩は目を見張るものがあります。でも、残念ながら未だに大変怖い病気であることには変わりないのです。抗癌剤を含めて、薬物治療などは日進月歩しているのです。しかしながら、その反面として副作用も多くなり、患者さんや家族の不安も強くなっているため、対策に難渋しているのも事実で、現代医療だけでは不十分な場合もあります。これらの副作用対策や緩和ケアのサポートとして、東洋医学の漢方薬や経穴経絡(いわゆるツボ)治療を応用してそれなりの成果をあげているので、それらの臨床的有用性について報告したいと思います。

お問い合わせ

(公社)愛媛県鍼灸師会

電話：0897-45-1280

ホームページ：

<https://www.harikyu-ehime.or.jp/>



第13回 はりきゅう市民公開セミナー

令和5年
3月5日(日)
13:00~14:10
オンライン開催
(zoom配信)

※詳細につきましては(公社)愛媛県鍼灸師会のホームページをご覧ください。

対象：一般県民・市民
(事前申し込み不要)

講師：黒川 胤臣先生
防衛医科大学校外科系漢方外来非常勤担当

演題：「癌患者の緩和ケアとしての東洋医学的アプローチの役割」

近年、癌の研究や治療の進歩は目を見張るものがあります。でも、残念ながら未だに大変怖い病気であることには変わりはないのです。抗癌剤を含めて、薬物療法などは日進月歩しているのです。しかしながら、その反面として副作用も多くなり、患者さんや家族の不安も強くなっているため、対策に難渋しているのも事実で、現代医療だけでは不十分な場合もあります。これらの副作用対策や緩和ケアのサポートとして、東洋医学の漢方薬や経穴経絡(いわゆるツボ)治療を応用してそれなりの成果をあげているので、それらの臨床的有用性について報告したいと思います。

最新情報は(公社)愛媛県鍼灸師会のホームページ(<https://www.harikyu-ehime.or.jp/>)に掲載いたしますのでご確認ください。

お問い合わせ (公社)愛媛県鍼灸師会 電話：0897-45-1280
<https://www.harikyu-ehime.or.jp/>

主催：公益社団法人 愛媛県鍼灸師会
後援：愛媛県・松山市・松山市教育委員会・NHK松山放送局・愛媛新聞社・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV

特集

倦怠感とはりきゅう

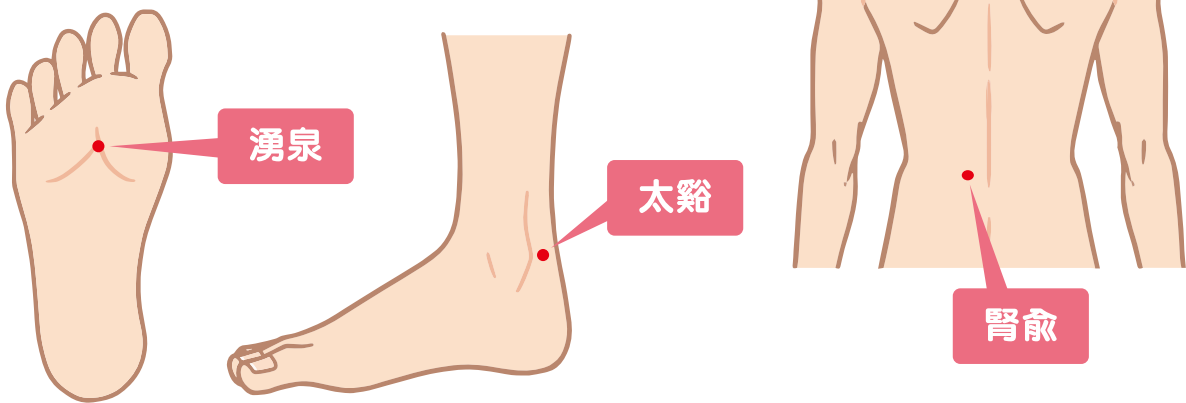
特に原因に心当たりがないが、疲れやすさ・身体のだるさを感じることがあると思います。数日続くようであれば、少し気になりますね。東洋医学では、『腎（両親から受け継いだ生命活動に必要なエネルギーである“先天の精”を蓄えているところ）の働きが弱っている状態⇒腎虚』と考えます。“先天の精”は年齢とともに減少し、腎の働きが衰えると老化現象が加速され、例えば耳の具合が悪くなったり、骨や歯や毛髪が弱くなるなど様々な症状が出てきます。今回の倦怠感、老化現象が加速した状態ではありませんが、腎の働きが低下していると捉える事ができます。

ここでは、自分で刺激しやすいところを3か所ご紹介します。

湧泉：足の裏にあります。親指で押さえたり、青竹踏みで刺激してみてください。

太谿：足の内くるぶしとアキレス腱の間のくぼみ。心地よい程度に押ししたり、お灸をすえてみてください。

腎俞：腰にあります。第二腰椎の1.5寸外。親指で押さえしてみてください。



倦怠感が一週間以上続くようであれば、お近くの鍼灸院や、かかりつけ医への受診をおすすめします。きちんと食事を取り、適度に体を動かして十分に睡眠をとることが基本です。

第33回公益社団法人全日本鍼灸学会中国四国支部学術集会

今回、「メンタルヘルス鍼灸の現在と未来への展望 ―最近の話題と最新のエビデンスの紹介―」東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科助教授 三浦悠人先生の講座を中心に受講した。

西洋医学では精神疾患のほとんどは完治が難しいとされ、対症療法が中心である。そのような中、近年、うつ病患者の治療目標に変化が起こっており、これまでの臨床的寛解だけでなく“パーソナルリカバリー”、つまり、患者にとっての「自分自身の人生を生きている」感覚を取り戻すことが目標とされている。その妨げとなる重要な症状が不眠症であるという。確かに我々の鍼灸院に来られるうつ病を中心に精神疾患のほとんどの患者様は主訴は不眠であり、この不眠が少しでも楽になれば患者のパーソナルリカバリーに大きな貢献となることは間違えないだろう。

精神病は病気の因果関係を明らかにすることが難しい。そのため西洋医学でも対症療法となっているのである。患者様が今訴えている症状を一つ一つ丁寧に寛解させていくこと、これこそが鍼灸治療の強みであり、鍼灸の役割りではないかと改めて感じました。（越智）

第3回生涯研修会実施報告

去る令和4年11月27日(日)に松山市男女共同参画推進センターを配信場所として、zoomを用いたオンライン講座 第3回生涯研修会を開催した。今回の研修会は海外から講義をお願いするという本会で初めて行うオンライン講座でした。

講師には台湾から高 資承先生(台湾山元式学会理事長、医心堂中医クリニック院長)をお招きし、講義Ⅰでは、「台湾における鍼灸治療の現況・特徴」、講義Ⅱでは、「台湾で『山元式新頭針療法』展開の経緯及びその先」のテーマで開催した。

講義Ⅰでは、鍼灸治療は保険適応の医療であり、診断から治療がシステムとして決められた方式の下で行われているという日本とはずいぶん異なっていることなどが紹介された。

また、講義Ⅱでは、山元式新頭鍼療法は一般の鍼灸治療とは異なり、服を着たままで行える、置鍼中も待合室などで自由に過ごすことのできる簡便な気楽に行える治療法であることが紹介された。

参加者は25名、会員15名(会場受講4名、オンライン受講11名)、会員外10名(会場受講1名、オンライン受講9名)でした。（越智）

2月11日 スポーツ鍼灸研修会

A講座「withコロナのスポーツ鍼灸」

B講座「鍼通電を活用したスポーツ鍼灸」

筑波技術大学保健科学部付属東西医学統合医療センター准教授 櫻庭陽先生

2月12日 愛媛マラソン ケアボランティア

3月5日 第13回はりきゅう市民公開セミナー

演題：「癌患者のQOLにおける経穴経絡治療の役割について」
第5回生涯研修会

演題：「癌患者のQOLをサポートティブケアする経穴経絡治療の具体例について」
防衛医大外科系漢方外来担当、品川荏原ライフケアクリニック院長 黒川 胤臣先生

令和5年 新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年を迎えられたことと思います。

新型コロナウイルス感染症も4年目に入り現在も第8波の真っ盛りでございます。今回の波はコロナウイルスとインフルエンザウイルス、それに鳥インフルエンザも感染が増えており三つ巴の様相を呈しています。しかし、明けない夜はないと申します。必ず、ゼロコロナとなるかウィズコロナとなるか、恐らく後者だと思えます。が、早く落ち着いてもらいたいものです。

また、この場をお借りして感染拡大防止のご協力を賜りました事を御礼申し上げます。昨年の主だった事業はサテライト会場にて、はりきゅう祭りを開催いたしました。そして、念願でありました社団法人40周年式典を開催することができ、多くのご来賓を迎えることができました。これもひとえに皆様のご協力があればこそこの開催でありました。心より御礼を申し上げます。

さて、今年は癸・卯(みずのと・う)の年です。「癸(みずのと)」は静かで温かい大地を潤す恵みの水を表し、十干の最後にあたるため、生命の終わりとなつた新たな生命の成長という意味を持っています。また「卯」、は穏やかなウサギの様子から安全、温和の意味を持ちます。他にもウサギのように跳ね上がるという意味があり、何かを開始するのに縁起が良く物事が好転する良い年になると言われています。そのため、「癸・卯(みずのと・う)」の年は、今までの努力が実を結び勢いよく成長し飛躍するような年だとされています。

どうか今年も公益社団法人愛媛県鍼灸師会の事業にご協力を賜ります様お願い致しまして新年のご挨拶に代えさせていただきます。

編集後記

前回のクリスマス寒波は大雪でした。椿さんが早いので、春も少し早く訪れるのでしょうか？
(K)

愛媛県鍼灸師会通信

はりきゅう 愛媛

携帯・スマートフォンの方は、このQRコードでアクセスしてください。



編集委員 (2022年度)
委員長 町野 公一
委員 一柳 智顕



ご意見やご感想をお聞かせください。
メールアドレス contact@harikyu-ehime.or.jp

はりきゅう豆知識②

Q 鍼灸師ってどれくらいいるんですか？

A 鍼灸の資格は、はり師ときゅう師に分かれています。令和2年度末の厚労省衛生行政報告によると、実際に仕事をしている方(休業中も含め)は、全国で124,956名、そのうち愛媛県には、はり師1,167名・きゅう師1,147名います。
(寺川)

